

日本発ドイツ便り : Hofheim am Taunus

フランクフルトでお買物と食事を終えて帰る途中、駅のインフォメーションで「電車で行けるフランクフルト近郊の街」みたいな冊子を見つけました。見てみると、S-Bahn や地下鉄で 30 分から 1 時間くらいの距離で、けっこう観光地があるんです。ただ、問題は、翌日の 14 時には日本行きの飛行機に乗らないといけない。＝朝から市場に行って、買い物して、それからちょっと遊びに行って、12 時前にはホテルをチェックアウトして空港へ！というまあ、結構忙しい予定。逆算して、片道 30 分の所なら行けるかな？ということで選ばれたのが Hofheim (ホフハイム) am Taunus (アム・タウヌス : タウヌス山地の。という意味です。きっと他にも Hofheim という地名が存在するんでしょうね。)

朝早く起きて、朝ご飯の後、市場へ。スーツケースの空きの部分を考えながら、いつものお気に入りのパン屋さんで、焼き立てパンを買いました。急いでホテルに帰って、荷物をざっと詰めて、駅へ。

S-Bahn に乗って約 30 分、Hofheim の駅に着きました。

そこから先は、地図もないし、何があるのか知っているわけでもないの、野生の勘に従って（もしくは道路標識）進みます。☺

(教会の塔が見えたら、多分、それが街の中心だろう…。くらいの大まかな感じですよ)



Fachwerkhaus (ファハヴェルクハウス : 木組みの家) がたくさんある、小さな静かな街でした。

タウヌス山地、と言うのは、フランクフルトのあるヘッセン州の南部、東北東～西南西の方向 70km ほどにわたっている山地のことで、保養地や温泉がたくさんあるところです。(まったく関係ないですが、タウヌスは水¹が本当においしいのです。フランクフルトに住んでいた時、勤務先に毎週タウヌスまで水を汲みに行く人がいて、よく水を頂きましたが、日本茶をタウヌスの水でいれると、甘みが出てすごくおいしいのです。) この街は、ワインの産地でもあり、豊かな自然とフランクフルトまで 30 分の立地となれば、なかなか住みやすそうな街ですね。

¹ Taunus の水は日本でもいくつか売られているものがあるようです。Rosbacher (ロスバッハー) など。Rosbach は Taunus にある街の名前です。



こんな家がたくさん残っていました。



教会からみた風景。デザインも色にも統一があって、なかなかお洒落な街並みですね。



多分観光名所と思われる Stadtmuseum (シュタットムゼウム：市立博物館)。



この木組みの家はカフェに改装されていました。中はこんな感じ。



木組みの家って、一つ一つにすごく個性があって、いくつ見ても楽しいです。時間が気になる中だったので、急いでフランクフルトに帰ってしまったので、今回駆け足になってしまいましたが、もし、また機会があれば、のんびり遊びにきて、ワイン畑とか散歩してみたいものです。フランクフルトから30分で遠足気分が味わえる街、Hofheimでした。